

エコマネジメント長野エネルギー使用量等調査要領

(平成 28 年 3 月 29 日 27 環エ第 282 号)

(平成 30 年 4 月 13 日 30 環エ第 11 号一部改正)

(令和 2 年 5 月 26 日 2 環政ゼ第 32 号一部改正)

1 目的

この要領は、エコマネジメント長野運営要綱（平成 12 年 9 月 14 日 12 環第 264 号）第 19 条の規定により実施するエネルギー使用量等の調査について必要な事項を定める。

2 調査手順及び注意事項（赤字は誤りが多くある点）

- (1) 「総括」シートの Step 1 から Step 5 までに従って入力する。
- (2) 入力箇所は黄色で着色しているセルとする。それ以外は入力不要（入力不可）。
- (3) Step 2 については、下表に掲げるもののうち、所属で使用又は関係しているもの全てについて調査する。
- (4) 原則として、エネルギーについては使用量を調査することとするが、把握が困難な場合は購入量とする。
- (5) Step 5 では、自動出力される電気又は燃料（電気、A 重油、灯油、ガソリン、軽油、都市ガス、液化天然ガス、液化石油ガス、ジェット燃料）が 前年同半期比±20%以上であった場合、増減理由及びこれを受けて実施した（又は検討している）対策を記入する。

対象年度（対象期間）における温室効果ガス算定用項目（Step 2）		
項目	単位	備考
電気	kWh	<ul style="list-style-type: none">・電力会社名、排出係数メニュー名の順にプルダウンから選択し、契約電力（kW）、契約開始/終了年月日を入力してください。・排出係数メニュー名については、<u>通常の場合は「事業者全体」を選択し、温室効果ガス排出量の少ないプランを契約している場合は、該当するメニューを選択</u>してください。・初めは 1 事業者のみ入力できるようになっていますが、調査対象期間の契約事業者が 2 つ以上ある場合は左隣にある + ボタンで追加できます（減らしたいときは - ボタン）。・用途別に電気使用量の内訳を昼/夜間別に入力してください。その際、「<u>購入先電気量計</u>」=「<u>用途別電気使用量計</u>」となります（合計が合わない場合はエラーとなります）。・建設事務所等は、道路やトンネルなどの照明の電気使用量や道路融雪用のヒーターの電気使用量、警察本部は、信号機等の交通安全施設の電力消費量についても計上してください。・平成 26 年度の省エネ法改正に伴い、昼（8:00～22:00）、夜（22:00～8:00）に分けて入力してください。昼・夜の使用量が不明な場合は、全て昼に記入してください。
A 重油	L	<ul style="list-style-type: none">・ボイラー、動力機関等に使用した A 重油の使用量を入力してください。・建設事務所等は道路融雪用の設備・機器に使用した A 重油の使用量も計上してください。
灯油	L	<ul style="list-style-type: none">・ボイラー、暖房用ストーブ等で使用した灯油の使用量を入力してください。・建設事務所等は道路融雪用の設備・機器に使用した灯油の使用量も計上してください。

ガソリン	L	公用車（ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車を含む）、動力機関等、草刈機などの農業用機械で使用したガソリンの使用量を入力してください。
軽油	L	公用車（クリーンディーゼル自動車含む）、ボイラー、動力機関等、トラクターなどの農業用機械で使用した軽油の使用量を入力してください。
都市ガス	m ³	供給ガス会社をプルダウンリストから選択してください。ボイラー、動力機関等、家庭用ガスコンロ、瞬間湯沸器等で使用した都市ガスの使用量を入力してください。
液化天然ガス (LNG)	kg	公用車、ボイラー、動力機関等で使用した液化天然ガス (LNG) の使用量を入力してください。
液化石油ガス (LPG)	kg 又は m ³	・ボイラー、動力機関、家庭用ガスコンロ、瞬間湯沸器等で使用した液化石油ガス (LPG) の使用量を入力してください。 ・ 単位は kg、m³ のいずれかをプルダウンリストより選択 してください。
ジェット燃料	L	ヘリコプター等、航空機で使用したジェット燃料の使用量を入力してください。
航空機等飛行回数	回	ヘリコプター等、航空機の飛行回数について、機体を管理している所属で入力してください。
新エネルギー	kW 又は MJ	太陽光、太陽熱等により得られた新エネルギーの使用量を入力してください。
熱	MJ	他者から供給された熱の使用量を記入してください。
公用車 (ガス・ガソリン) 走行距離	km・台	・燃料がガソリンおよびガスの公用車の走行距離（月間に走行した距離）を上段に記入してください。 ・燃料の一部にガソリン及びガスを使用するハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車も含めて入力してください。 ・保有台数（上半期末、年度末時点）を9月、3月の列に記入してください。車種は下表を参考にしてください。 (※車種は、前年度の入力値との整合も確認)
公用車 (軽油) 走行距離	km・台	・燃料が軽油の公用車（クリーンディーゼル自動車含む）の走行距離（月間に走行した距離）を上段に記入してください。 ・保有台数の台数（上半期末、年度末時点）を9月、3月の列に記入してください。車種は下表を参考にしてください。 (※車種は、前年度の入力値との整合も確認)

注 自動車の車種定義一覧

種別		構造				
種別	代表的な自動車	車輪数	長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	エンジンの総排気量
普通・小型乗用車	大型乗用車、小型乗用車	4輪以上	—	—	—	660を超える
軽乗用車	軽乗用車	3輪以上	3.3以下	1.4以下	2.0以下	660以下
普通貨物車	大型トラック	4輪以上	4.7より大きいもの	1.7より大きいもの	2.0より大きいもの	2,000を超える
小型貨物車	小型トラック、ライトバン	4輪以上	4.7以下	1.7以下	2.0以下	660を超え2,000以下
軽貨物車	軽トラック	3輪以上	3.3以下	1.4以下	2.0以下	660以下
特殊用途車	起震車、散水自動車、広告宣伝用自動車、霊柩自動車、医療防疫用自動車、タンク自動車、警察自動車、救急自動車、消防自動車、高所作業自動車その他の作業用自動車、クレーン自動車、身体障害者輸送自動車、ふん尿自動車、塵芥自動車、清掃自動車、キャンピング自動車、コンクリート・ミキサー自動車、販売自動車、冷蔵冷凍自動車、教習用自動車、その他構造、装置及び用途が前に掲げる自動車に類する自動車					

公用車のエアコン使用	台	各所属で管理している公用車のうち、エアコンを装備している公用車台数（上半期末、年度末時点）を9月、3月の列に入力してください。
------------	---	---

麻酔剤の使用	kg	病院等で使用した、笑気ガス（麻酔剤）の使用量を入力してください。
家畜の飼養	頭	（上半期末、年度末時点）の飼養している家畜の飼育頭数を9月、3月の列に入力してください。
水田	m ²	（上半期末、年度末時点）の耕作している水田の面積を9月、3月の列に入力してください。
化学肥料中の窒素量	t	畑および水田で使用した化学肥料に含まれる窒素の量を入力してください。
有機肥料中の窒素量	t	農作物の種類（野菜、水稻、果樹）ごとに、使用した有機肥料および有機配合肥料に含まれる窒素の量を入力してください。
牛の放牧	頭	牛の平均的な放牧頭数を入力してください。
農業廃棄物の焼却量	kg	農業によって生じる殻、わら等について、各所属の敷地内で焼却した量を入力してください。（処理を委託しているものは除きます。）
廃棄物の埋立て処分	kg	生物分解が可能な廃棄物を敷地内に埋立て処分した量を入力してください。
生活排水処理	人	・浄化槽は設置されている浄化槽の人槽（上半期末、年度末時点）を9月、3月の列に入力してください。 ・汲み取り便槽は平均的な処理対象人員数（実員数）（上半期末、年度末時点）を9月、3月の列に入力してください。
一般廃棄物焼却量	kg	各所属で所有している焼却炉で焼却した廃棄物の量を入力してください。
産業廃棄物焼却量	kg	各所属で所有している焼却炉で焼却した廃棄物の量を入力してください。

省資源・環境配慮型活動調査項目

水資源使用量	m ³	上水の使用量を記入してください。
排水量	m ³	排水先（公共用水域、下水道）別に排水量を記入してください。
コピー用紙使用量	千枚	コピー用紙、プリンター用紙の購入枚数を入力してください。（県庁、合庁の 入力は購入担当課（取りまとめを行った課） で行ってください。）
公用自転車保有台数	台	公用 自転車 の保有台数を入力してください。 （公用車ではありません。）
可燃ごみ排出量	kg	各所属で排出した可燃ごみの量を入力してください。
次世代自動車	台・km・L(kg)	・各所属で保有している次世代自動車の台数（上半期末、年度末時点）を、9月、3月の列に種類別に入力してください。 ・走行距離、種類に応じた燃料使用量（電気自動車を除く）を月別に入力してください。 ・次世代自動車の種類は下表を参考にしてください。

次世代自動車の種類
電気自動車
プラグイン・ハイブリッド自動車
ハイブリッド自動車
燃料電池自動車
クリーンディーゼル自動車
その他

廃棄物排出量関係

廃棄物の処理量を容積 (m³) で把握している場合は、下表により、容積に換算率を乗じて重量(kg)を算出し該当項目に重量を入力してください。

廃棄物の種類	換算率
汚泥	1,040
廃プラスチック類	200
木くず	550
金属くず	1,700
ゴムくず	600
繊維くず	550
ガラスくず及び陶磁器くず	1,500
がれき類	1,700
上記以外	1,000

(計算例) 廃プラスチック類 5 m³の重量換算 $5 \text{ m}^3 \times 200 \text{ (換算率)} = 1,000 \text{ kg}$

3 調査時期

原則として、月ごと行うこととし、当該月の翌月末日までに行う。

4 調査結果の公表

この調査結果については、環境活動レポート等で公表する。

附 則

この要領は、平成 30 年 4 月 13 日から施行する。

この要領は、令和 2 年 5 月 26 日から施行する。